

リーブラ便り

2012年11月・12月合併号 VOL. 41



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

1. 講演会「女性&男性の視点で地域防災力アップ!」のご案内
 2. フォーラム2013 開催日決定と出展企画募集について
 3. 講座案内（リーブラ主催講座・活動助成事業）
 4. 講座報告（リーブラ主催講座）
 5. 運営協議会 開催報告
 6. リーブラ相談室 心のサポートルームだより
 7. 男女平等参画情報
- ★別紙 11月の新着図書ご紹介



1. 港区主催・リーブラ講演会 「女性&男性の視点で地域防災力アップ!」開催のご案内

わたしたちは、東日本大震災により、避難所運営をはじめとした様々な防災対策に、男性だけでなく女性の視点を反映することの大切さを再認識しました。

港区では、港区防災会議に女性3名の学識経験者と区職員で構成する「港区地域防災計画に女性の視点を反映させる部会」を設置し、その報告を踏まえ、具体的検討を進めています。

この講座は、同部会の委員である浅野氏をお招きし、女性と男性、災害時要援護者にも配慮した地域での防災対策について、皆さんと一緒に考える講座です。



- 講師：浅野幸子氏（早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」客員研究員、港区防災会議委員）〔左写真〕
- 日時：2013（平成25）年1月26日（土）
午前10時 ～ 午後12時15分
- 対象：港区民（在住・在勤・在学の方）200名
〔当日先着順、予約不要〕
- 保育：あり（4ヶ月以上就学前まで）※要予約
保育申込締切：2013年1月11日（金）
保育申込受付：電話、FAX、Eメール、リーブラ3階窓口にて



2. フォーラム2013 開催日決定と出展企画募集時期についてのご案内

毎年6月に内閣府が定める「男女共同参画週間」（6/23～29）を記念して開催している、「男女共同参画週間記念フォーラム」。フォーラムは、リーブラと区民の皆さまとの協働によって実施される大きなイベントです。

そのフォーラムの来年の開催日が決定いたしましたので、お知らせいたします。

10月末より活動を開始した、企画運営委員会では、現在、出展企画を募集するための概要などについて検討を重ねています。12月中旬には出展企画の募集について、リーブラよりお知らせを発信いたします。

今後、企画運営委員会で決定した内容などについては、引き続きリーブラ便りをはじめとした広報で、区民の皆さまにお知らせをさせていただきます。

フォーラム2013開催日
6月29日(土)・30日(日)

2013（平成25）年の「男女共同参画週間」は、6月23日（日）から29日（土）までの1週間です。

リーブラの講座などの情報は、詳しくはHPで。

リーブラ

検索



3. 講座案内（リーブラ主催講座・活動助成事業）

リーブラ主催講座

東日本大震災関連企画 映画上映会 我謝京子監督作品
『311：ここに生きる—In The Moment—』

■日時：2013年 1月19日（土）14：00～15：30
整理券配布 13：00～ 開場13：30～
ホール前展示 13：00～16：00

東日本大震災をテーマにした女性作家の小説や作品を、
当日5階ホール前で展示します。

- 会場：5階 ホール
- 参加費：無料
- 定員：100名
- 申込：事前申込不要（当日整理券配布）
- 保育：無料 ※要予約（0歳4ヶ月以上未就学児まで）
保育申込締切：2013年1月4日（金）までに申込。

<作品紹介>

東日本大震災後、気仙沼、南三陸町、石巻、相馬、福島、郡山、仙台、陸前高田、釜石、東京に住む10代から80代までの女性たちに取材したドキュメンタリー（90分）。

<監督プロフィール>

ドキュメンタリー映画監督／ライターニュースアンカー

報道記者として阪神淡路大震災などを取材。2001年にライター社のテレビレポーター&プロデューサーとして赴任し、同年の9.11事件で被災。ニューヨークで生きる道を選んだ日本女性の生き方を克明に収めたドキュメンタリー映画『母の道、娘の選択』を2009年に完成。

『リーブラフェスティバル2013 Have Fun ～みんなでたのしく！～』

■日程：2013年 2月9日（土）、10日（日）

リーブラを拠点にして活動をされている区民団体やサークルの方々、日頃の活動の成果を発表するリーブラフェスティバル。

このフェスティバル2013の開催が近づいてまいりました。近々、パンフレットとポスターも完成して、12月中旬には皆さまに詳細をお知らせできる状態になります。

詳細につきましてはもう少しお待ち下さい。

●主な構成●

- 【展示】
活動団体の発表や製作作品の展示、販売など。
- 【ホール】
歌・朗読・ダンス・体操・楽器演奏など
- 【料理】
食事（軽食）・喫茶・休憩スペースなど

何か新しいことをはじめてみたい、港区でどんな活動をしている団体がいるのかを知りたい、趣味の範囲を広げてみたい、など地域とのつながりをつくり、大切にしていきたいと思われている方にとって、フェスティバルは素敵な出会いの場になると思います。

企画やブースを出展する団体も40近くあります。きっと皆さんの心にとまるものがあると思います。ぜひ、足をお運びください。

リーブラ主催講座

インターンシップ参加学生企画
「I（あい）カフェ」
IカフェでI（私）、愛、会い、合いを
語り合しましょう。



- 日時：2013年 2月1日（金）
18：30 ～ 20：30
- 会場 リーブラ 3階 学習室E
- 対象 18歳以上。20代、30代のシングルの方
- 定員 15名（要申込、先着順）
- 申込 電話、FAX、Eメール、リーブラ
窓口にて12月12日（水）より

好きなドラマや映画は何ですか？
今回の「Iカフェ」では、恋愛映画、パートナーシップをあつかった映画を取り上げます。

皆さんの好きな映画やドラマから、自分らしい、また、あなたにとって心地よいパートナーシップを見つけてみませんか？

映画・ドラマが好きな方、ヒトとヒトとのパートナーシップについて語り合いたい方のご参加をお待ちしています。

I（あい）カフェは、リーブラ主催の夏のインターンシップに参加した学生が、企画した講座です。

I（あい）カフェのIには、愛情のあい、私を意味する英語のI、出会いの「会い」Iなどにつながるものとして、カフェを開催する上でのテーマとしています。

2012年度 活動助成事業

「みんなで取り組もう！
ポジティブアクション
～ クォータ制とは」

主催：みなと21：女の議会

■日時：2013年 2月2日（土）
13：30 ～ 16：00

■会場：リーブラ 集会室2・3

■内容：

政治や経済の分野で女性のリーダーが育ちにくいといわれる日本。

議員や管理職に占める女性の割合では、先進諸国との格差が広がる一方です。

多くの国がクォータ制を取り入れ、女性たちの参画を積極的にすすめている。日本の抱える課題を港区から考えてみましょう！

■講師：申キョンさん（お茶の水女子大准教授／女性と政治・ジェンダー研究所）

■参加費：無料

■定員：40名

■問合せ：080-3512-3710（南）

■申込み：FAX／03-3472-5787

Eメール／gem-minato@kif.biglobe.ne.jp

*問合せ・申込みは、リーブラでなく上記団体宛て
にお願いします。



4. 講座報告（リーブラ主催講座）

こうなん保育園向け リーブラ出前講座

「子どもの発達を支えるために親をエンパワーする支援」～児童虐待を予防する～

■実施日：10月31日（水）

■参加人数：18名（対象：保育士）

リーブラでは平成21年度より、企業や区内施設に出向いて講座を実施しています。子どもたちが一日の中で大半の時間を過ごす保育園等では、児童虐待の早期発見に努力するよう求められていますが、こうなん保育園では虐待の発見はもとより、発見後、保護者や児童へどのように対応すればよいか、園長をはじめ職員全員が高い課題意識をもっておられ、今回リーブラへ講座実施の依頼をいただきました。

講師からは、まず虐待が発生するメカニズムや社会的背景が伝えられました。対人関係の希薄化が進み親役割を身に付けにくくなっている現代の親に、保育者は支援者の立ち位置で、児童虐待予防の第一歩として、親の心理や各々が抱える課題を理解しながら親に寄り添うことの重要性が語られました。

その後、保護者や児童に対する言葉かけや、遊び方など、すぐに実践できる具体手法が紹介されました。

今後も区内施設とリーブラが連携し、地域で起こっている課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。



リーブラ主催講座 「著者が語る話題の本」

～岡野幸江さんが語る「女たちの記憶：近代の解体と女性文学」～

■実施日：11月2日（金）

■参加人数：12名

■講師：岡野幸江さん（法政大学講師）

日本の女性作家と女性文学の流れを、明治から昭和まで連続で追う形で進む講座となりました。

「女性の視線や存在が照らし出す近代社会の深層」を知り、そして、近代化の中で近代国民国家がとった戦略が徹底したジェンダー（社会的性差）化であった点が講師の岡野さんより語られました。

特に有吉佐和子著の『華岡青洲の妻』にスポットをあてたところから、参加者のさまざまな感想や意見が出され、活発な意見交換と交流の時間となりました。

同内容で、さらに学習を深め、議論を深めたいという感想をもった参加者が多く、リーブラの今後の講座発展への期待が感じられる講座でした。

講座後のアンケート（一部抜粋）

- ・「よいお話をうかがいよかったですと思いますが、もっと時間をとって話をしてほしいと思った」
- ・「パートⅡの企画を！戦争協力しなかった人々の紹介もいただきたかった。もっと時間があつたらと思いました」
- ・「この企画は素晴らしいです」 などなど

2012年度 団体育成事業

「学生とデートDVを語ろう！～対等かな？二人の関係～」

企画・運営：NPO法人男女平等参画推進みなと

講師：西山さつき（NPO法人リニア副代表）、明治大学のみなさん、「DVを考える若者フォーラム」のみなさん

■実施日：10月20日（土）

■参加人数：33名

大学生と講師西山さんのコラボによる講座が開催され、多くの若者が集まり活気のある講座となりました。まず最初に明治大学の学生が、「他の男と話すな！メールにはすぐに返信しろ！」という『DV彼女』や、記念日についてはプレゼントをねだり、友人づきあいも断ち束縛する『DV彼女』を演じる寸劇を披露しました。

お互いを尊重する関係性や身近な友人としての対応について問題提起されました。また若者へのDV予防啓発の取組みを報告した「DVを考える若者フォーラム」の皆さんは、全国的に実態調査を行い、当事者が取組むことで若者に身近な問題として考えてもらいたいと提案していました。

その後、参加者がワークショップに参加し話し合い、西山さんからはDVの構造、望まない妊娠トラウマなどについて解説があり、誰でも「自らの中に自分を幸せにする力があり、裏切られた喪失感・後悔を経た後に違う自分を生き直すことが出来る」という力強いメッセージが語られました。

スイス大使館協力講座 「スイス・デザイン賞展 受賞者をつくる わたしのオリジナルデザイン」

■実施日：11月7日（水）、8日（木）〔2日間〕

■参加人数：6名

■講師：NPO法人シニア・デザイン・ファクトリー



スイス大使館からの依頼を受けて、急遽実施した講座です。2年に1回開催されている「スイス・デザイン賞展」。その受賞者の国際巡回展が東京で開催されることから、受賞者によるワークショップに参加してきました。

日頃よりリーブラで活動をされている団体メンバーの皆さまとともに、2日間にわたって自由な発想とご自身の得意な形で表現されるさまざまな作品の製作を通じた国際交流の場となりました。

11月は、「女性への暴力をなくすための運動」強化月間にあたることから、押し花によるパープルリボンをかたどった作品が完成すると、会場は大変な盛り上がりになりました。

製作した作品は、海外の国をめぐる展示会でも披露されることになりました。また、講師であるNPO法人シニア・デザイン・ファクトリー（スイス）の工房に飾られることになりました。



5. 運営協議会 開催報告

8月号のリーブラ便りで、リーブラの運営協議会での議事内容等についてお知らせをいたしました。

その後、毎月1回のペースで運営協議会を開催しています。これまでに以下の日程で、リーブラ内で開催してきました。

- 第2回● 9月6日(木)
- 第3回● 10月11日(木)
- 第4回● 11月12日(月)

毎回、リーブラで実施している講座の実績を中心に委員の皆さまへ報告しています。

報告内容に対して、集客方法や、より広く開催をよびかける広報手段などに対するアイデアやご指摘をいただきながら、より効果的で質の高い事業の実施につなげています。

また、リーブラの事業実施上大きな催事であるリーブラフェスティバル(2013年2月9日、10日開催)、男女共同参画週間記念フォーラム(2013年6月29日、30日開催)などの進捗状況等を報告しています。

特に第4回の運営協議会では、フォーラム2013の企画運営委員会が立ち上がったこともあり、来年6月の開催に向けたスケジュールや出展企画の募集等についての報告を事務局よりいたしました。

6. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り

現在放映中のNHKドラマ「シングルマザーズ」にも描かれています。母子家庭の生活困難な状況は、年々深刻になっていることが厚生労働省の調査でも明らかになっています。平成23年度「全国母子世帯等調査結果」によりますと、母子世帯の約9割が離婚が理由、母子世帯の平均年間就労収入は181万円で、父子世帯の平均就労収入360万円の2分の1でした。

出産・育児で就業を中断、離婚後の再就職も非正規雇用であることが多く、ひとり親の女性が生活困難に陥るリスクは高いと考えられています。

〔一般相談 開室日時〕

火曜日 16:00～20:00
水曜日 10:00～16:00
金曜日 10:00～16:00
金曜日 18:00～21:00

女性弁護士による 法律相談(月1回)

＜対象＞
港区在住・在勤・在学の方で一般相談(面談)をご利用されている方。

03-3456-5771(相談室専用電話)

※法律相談ご利用詳細は、相談室利用時間内に専用電話へお問い合わせください。

金曜日夜の時間帯もご利用いただけます。

相談は無料。面談は事前にご予約ください。

電話相談も可能です。ご予約もご相談も上記の利用時間内に専用電話にてお願いします。

7. 男女平等参画情報 ～保活しても入れない? 保育園と男女共同参画の深～い関係～

就職活動を「就活」と呼ぶことはもちろん、結婚するための活動を「婚活」と呼ぶことが一般に定着して来ましたが、それでは、「保活(ほかつ)」とは、何の略でしょうか? そうです。「保育園に入るための活動」を指しているのです。「待機児童」が、数年前から政治の場でも問題とされるようになりました。「待機児童」とは、公的な保育施設＝認可保育園に入園申請を出しているが満員で入れず、待機している子どものことです。待機児童の数は、そのままその自治体の保育園の入園難易度を示すこととなります。港区を含め待機児童が多い地域では、妊娠中から保育園探しを始めるという話がよく聞かれるようになりました。

厚生労働省は、9月28日に、今年度の待機児童数を2万4825人(2012年4月1日現在)と発表しました。前年同日比で731人減ったとのこと。しかしながら、2001年度の統計から、待機児童の定義が変わり、待機児童のうち、自治体が助成する認可外保育施設や保育ママに在籍する児童等が除外されているため、統計上の待機児童数は実際の待機児童数より少なめに算出されているとも言われます。

もう一つ、「学童保育(放課後児童クラブ)」をご存知でしょうか。共働き家庭の小学生が放課後に過ごす施設で、こちらの待機児童は、2012年5月1日現在で前年同日比で113人増えて7521人と発表されました。子どもは段々と成長して行きますので、保育園のみならず学童保育の充実も不可欠です。そして、何より女性が働き続けるためには、保育園、学童保育の拡充は、とても必要なのです。男女共同参画を進めるために、リーブラも、保育園、学童保育の重要性を多くの人に知らせ、在住、在勤の方が安心して子育てと仕事の両立に取り組めるようご支援して行きたいと考えています。

●休館日のお知らせ● 次回の休館日は、12月29日(土)～1月3日(木)までの年末年始休館となります。年内の最終営業日は12月28日(金)で夜9時半閉館。新年は1月4日(金)午前9時より開館いたします。

●次号のお知らせ● 今号は合併号のため、次号は1月号(1月末発行)です。新着図書紹介は12月も発行します。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 ※祝日の営業は、上記の曜日・時間に準じます。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日:2012年12月5日